

保護者の皆さん！

# チャイルドシート

## HOW TO 情報



チャイルドシートはお子さんの命を守るために、「必要不可欠」なものです。  
どんな種類があるのか、どのように取り付けるのか、子どもの成長に合わせて  
どうすればいいのか、参考にさせていただければと思います。



### 危険性

過去に、「チャイルドシートを使用していた赤ちゃんが、ハーネスをすり抜け、車外に放出され亡くなってしまう」という交通事故がありました。

「チャイルドシートを使用していたのに？」と思いますよね。

この事故は、「後部座席に横向きで取り付けるチャイルドシート」を、「助手席に前向き」で取り付けられていました。

チャイルドシートは正しく取り付けなければ、効果を発揮できません。

「抱っこしていれば大丈夫」と思っていませんか？

時速40kmで衝突した際、抱いているお子さんの体重は、実際の約30倍にもなり、わずか5kgの赤ちゃんでさえ約150kgにもなってしまいます。

抱っこでは、絶対にお子さんを支える事はできません。

車内のお子さんを守るために、チャイルドシートが必要なのです。



### 選び方

お子さんの体格に合わないチャイルドシートを使用すると、事故の時にベルトをすり抜けてしまったり、ベルトが首に絡まって締め付けられたり、お腹にくい込むなどして、怪我を負ってしまいます。

最悪の場合、命を落とすこともあるので、お子さんにあったチャイルドシートを使用しましょう。

また、車とチャイルドシートの種類によっては、取り付けができない場合があります。

「車種別チャイルドシート適合表」を、店頭やメーカーのホームページで確認しましょう。



### 種類

チャイルドシートには、「乳児用」「幼児用」「学童用」の3タイプがあります。

#### 乳児用

体重：13kg未満

参考年齢：新生児～1歳半

取り付け方向：後ろ向き



#### 幼児用

体重：9～18kg未満

参考年齢：9ヶ月～4歳頃

取り付け方向：前向き



#### 学童用

体重：15～36kg未満

参考年齢：3～12歳頃

取り付け方向：前向き



※エアバッグの付いた助手席は避ける

知っていますか？